新座高校 野球部通信

１２月号

～部長・監督より～

人とは違うけれど…

野球部では秋季大会の敗退以降、トレーナーさんから頂いているメニューに取り組み、見た目にも少しずつ変化がでてきています。その中で「自分はあいつと違って軽いのしか持ち上げられないから」と軽い重りでトレーニングする仲間へ、重い重りにチャレンジするような指摘がチーム内でなされていました。

とても大切なことだと思います。人との違いはあって当然。違いを認めるということはその違いをどのように補っていくかを考えることです。それができるかが仲間とともに成長する鍵となります。チームで取り組むからこそ、スポーツで競っているからこそできる成長のチャンスを逃さないようにしていきたいものです。

感謝

2023年も残りわずかとなりました。野球部は今年も学校内外さまざまな方々の支援のもとに日々、意欲的に活動することができました。この場を借りて感謝申し上げます。

2024年、新座高校野球部は学校の歴史に残るような成果をあげられるよう精進していきたいと思います。

2024年もよろしくお願い致します。

野球部監督　村松

～野球部での取り組み～

今月も定期考査があり，勉強会を行いました。勉強会の質が上がり，教科担当の先生に質問する人もいて良かったです。

12月は対外試合がなくなり，オフシーズンに入りました。そのような中、17日に他校と合同練習を行い，普段はできない実践などを行いました。一人ひとり課題も見つかり良い練習になりました。

←勉強会の様子

選手にインタビュー!!

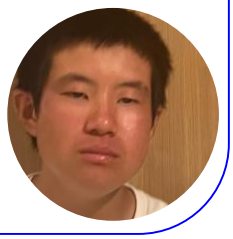
1．来年の個人の目標
2．目標達成のためにオフシーズンの取り組み方
3．オフシーズン明けまでに成長すること

1. 今よりも長打力をつけて球速をあげる。
2. 全ての練習に目的を持って、少しでも結果が出せるようにする。
3. 広角に打ち分けられるようなバッティングができるようになる
下半身を使って投げられるようにする。

清田留偉（2年　新座六中）

1. 走攻守を極める
2. 走塁でシャッフルとスライディングを完璧にし、攻撃では強振して打てるような練習を行い、守備では守備範囲を広げエラーを無くす
3. バッティングでしっかり引っ張れるようになる

後藤陸紀(2年　朝霞一中)



今年も1年ありがとうございました

２０２４年も是非新座高校野球部をよろしくお願いします